

和田まちづくりセンターの新たな取組

事業名

耕作放棄地対策事業

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- 公民館時代に、県のプラットフォーム事業を活用し、和田地区の有志の地域住民を対象にワークショップを行った。その際、「和田地区で気になっていることは何か」という質問したところ、地域住民から「農地の荒廃が課題である」という意見が多く出たため、耕作放棄地を少なくする事に取り組むこととした。
- 地域に増えてきた耕作放棄地を減らすことで、環境保全、環境美化に繋がることが見込まれる。

D

事業の概要

- 平成 30 年に地域の課題を考える「和田の未来を考える会（通称和の会）」を設立
- 今年度は「和田まちづくり推進委員会」と、地域の課題を共有し、連携しながら耕作放棄地対策に取り組むこととした。
- 毎月定例の総務企画部会において、和田地区の農地に関する状況等を把握するためにアンケートを実施することとした。農家・非農家に拘わらず地域住民全体を対象に、所有する農地の現状や農地に関する意識等を尋ねる内容のアンケートを作成し、7月に地区全域に配布した。
- 11月にアンケート結果を地区全域に配布、報告した。今後は、まちづくり推進委員会とアンケート結果をふまえて活動計画を協議し、協働していきたい。

C

課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

	○									
--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

上記評価の理由

- アンケート回収率 30.7%（60/195）と関心度の低さを感じる。
- 地域全体で耕作放棄地が増えている状況を確認し、当事者意識を高めていく必要がある。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

- アンケート結果を、総務企画部会で協議し、短期・中期・長期計画目標を立てて、すぐ取り組めるものから活動する。

